

ILC

21世紀の科学を切り拓き、東北と世界を繋ぐ

一関市

国際リニアコライダー

International Linear Collider

監修：岩手県

ILCの建設地の条件は？

全長31km（第1期計画）～50km（第2期計画）の直線上に、加速器用トンネル、アクセス用トンネル、粒子測定器を収容する地下の大ホールが建設できる場所が条件です。

また、電子と陽電子の精密衝突のため、人工振動がなく、活断層がない硬い安定岩盤にトンネルを建設できることが絶対的必要条件になります。

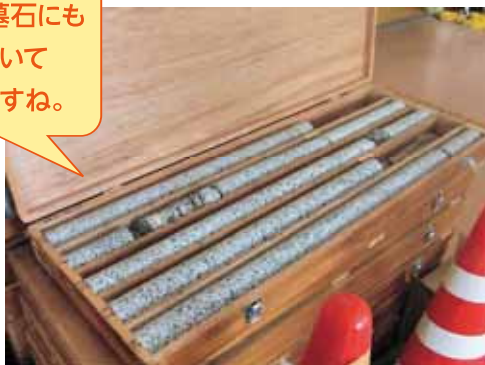
ILCの県内の候補地は？

岩手県南部の北上高地（奥州市～一関市、標高約100m）は、硬質な花崗岩岩盤体が50kmにわたって分布しており、ILCの候補地になっています。

平成22、23年度、東北大学と岩手県の共同研究の結果、北上高地のトンネル建設予定地には活断層、変質、風化はなく、ILCの建設に適しているとの評価が得られています。

東日本大震災でも、既存の岩盤内のトンネル観測施設では被害はありませんでした。

花崗岩は、墓石にも使われていてお馴染みですね。



ILCの候補地は？

アメリカ：シカゴ近郊（Fermilab）

ヨーロッパ：ジュネーブ近郊（^{セルン}CERN）

日本：**北上高地**
^{せぶり}脊振山地（福岡、佐賀県にまたがる）



ILCについて、もっと知りたい!

勉強会・講演会に講師派遣します

岩手県では、ILC計画に関する地域の勉強会、講演会等に講師として無料で職員を派遣しています。また、県職員以外の講師についてアドバイスしています。

申込先／岩手県政策地域部政策推進室

ILC推進担当

電話／019-629-5217

E-Mail／AA0001@pref.iwate.jp

問い合わせ先

一関市企画振興部企画調整課

電話／0191-21-8641 E-Mail／kikakuchosei@city.ichinoseki.iwate.jp